

平成 25 年度茨城県中小企業 IT 活用に関する実態調査結果 (概要)

◆調査時点：平成 26 年 2 月 5 日

◆調査対象：県内中小企業 3, 0 0 0 社

◆調査方法：郵送によるアンケート調査

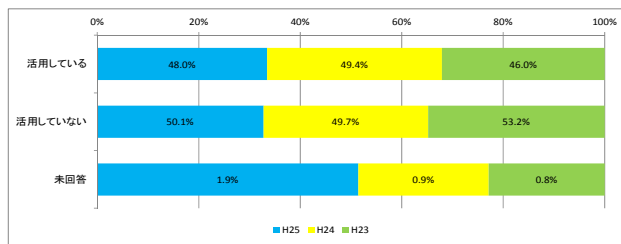
◆回答状況：5 3 3 社 (回答率 17.8%)

1 受発注業務におけるインターネットの活用状況

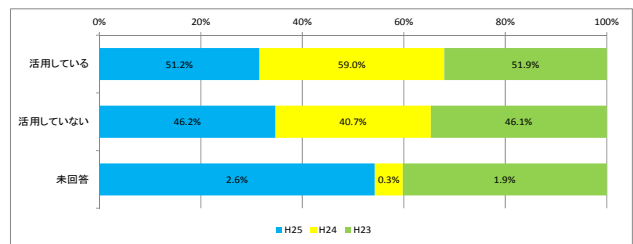
受発注業務にインターネットを利用している企業は発注業務 48.0%，受注業務 51.2% となり，利用媒体としては「発注業務」「受注業務」とも「電子メール（発注 62.5%，受注 56.0%）」が最も多く，次いで「取引先のシステム（発注 48.4%，受注 53.5%）」であった。

受発注業務におけるインターネットを通じた取引額の割合は，「30%以上」が発注 29.3%，受注 33.7% であったが，「5%未満」とする企業も発注 27.3%，受注 22.7% となった。

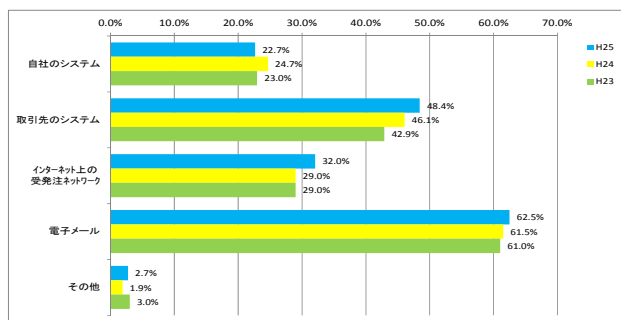
課題については，「セキュリティ上の不安がある（発注 36.7%，受注 35.2%）」「管理する人材がいない（少ない）（発注 35.5%，受注 37.0%）」が多い結果となった。



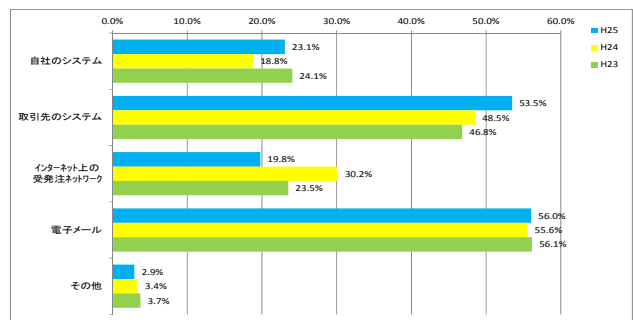
(活用状況：発注)



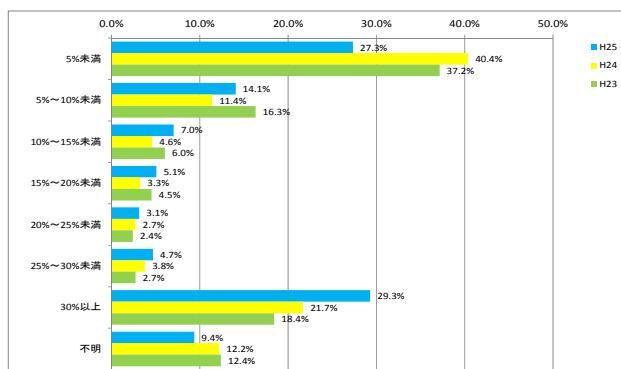
(活用状況：受注)



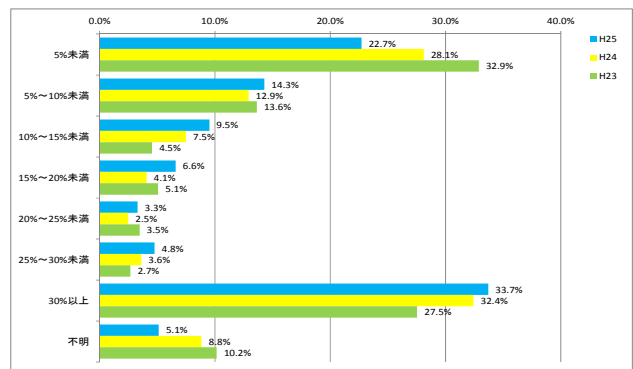
(利用媒体：発注)



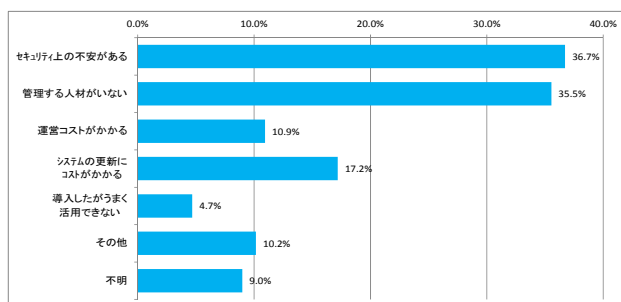
(利用媒体：受注)



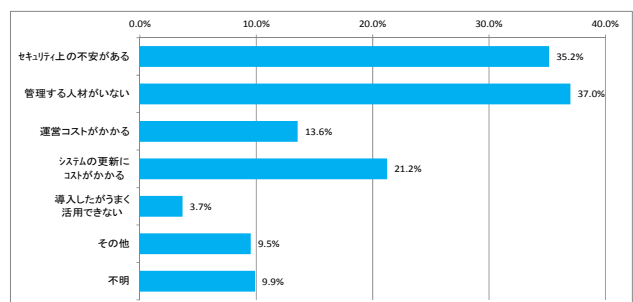
(仕入割合：発注)



(販売割合：受注)



(発注業務における課題)

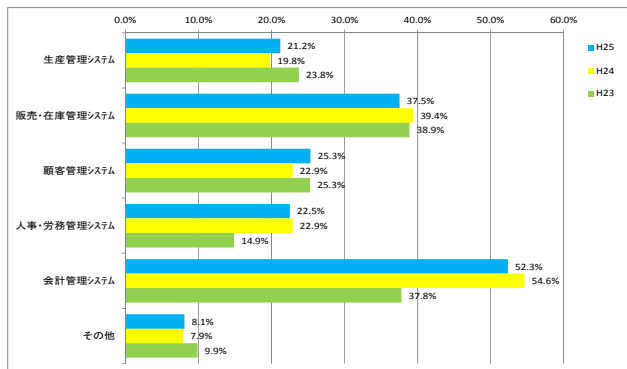


(受注業務における課題)

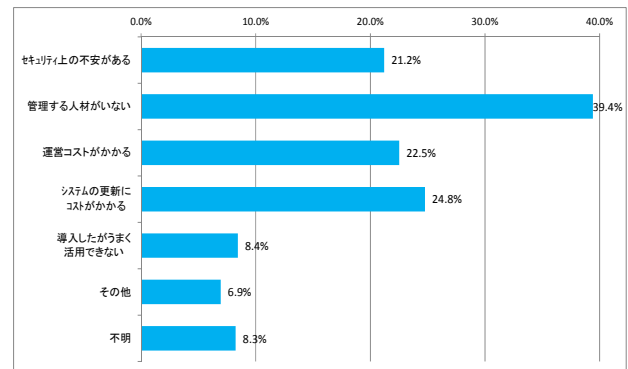
2 ITを活用した経営効率化

利用しているシステムについては、「会計管理システム（52.3%）」が最も多く、次いで「販売・在庫管理システム（37.5%）」であった。また、今後導入を検討しているシステムについては、「その他（13.3%）」が最も多い結果となった。

IT活用の課題については、「管理する人材がいない（少ない）（39.4%）」が最も多く、次いで「システムの更新にコストがかかる（24.8%）」、「運営コストがかかる（22.5%）」と続く。



（利用しているシステム）



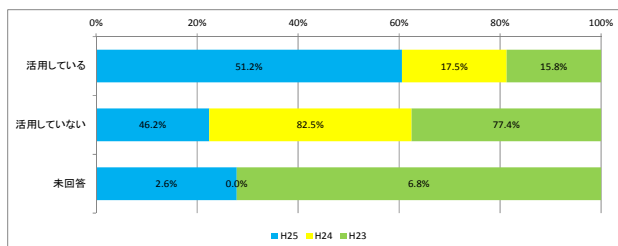
（IT活用の課題）

3 インターネットを活用した販売状況

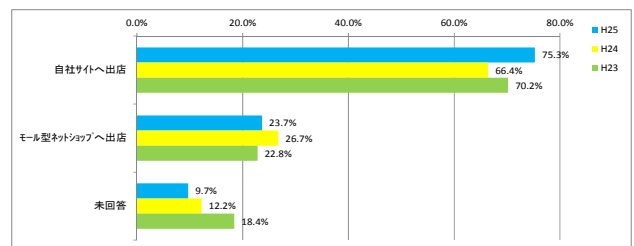
ネット販売の活用状況については、ネット販売を「活用している（51.2%）」のうち「自社サイトへ出店（75.3%）」がほとんどであった。

年間売上高に占めるインターネットを利用した売上の割合は、「5%未満（58.1%）」が大半であった。

課題については、「管理する人材がいない（44.1%）」、「売上げに結びつかない（39.8%）」、「運営コストがかかる（28.0%）」が多い結果となった。



（ネット販売の活用状況）



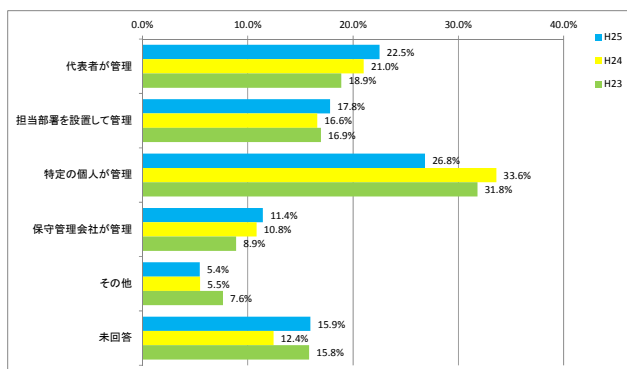
（ネット販売の形態）

4 インターネット・ホームページの管理状況

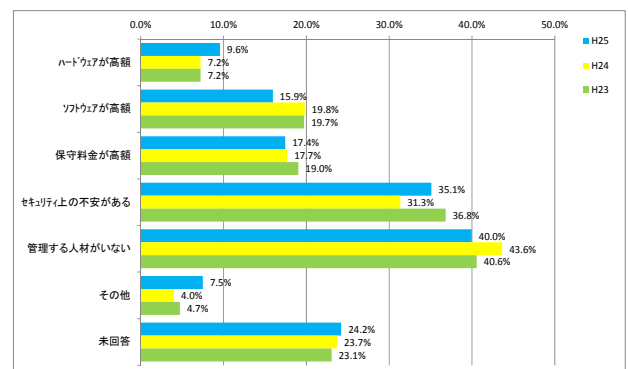
ネット環境の管理については「特定の個人が管理（26.8%）」が最も多く、次いで「代表者が管理（22.5%）」、「担当部署を設置して管理（17.8%）」となった。

課題については、「管理する人材がいない（40.0%）」が最も多く、次いで「セキュリティ上の不安がある（35.1%）」であった。

セキュリティ上の不安材料については、「ウイルス感染（80.2%）」が最も多かった。



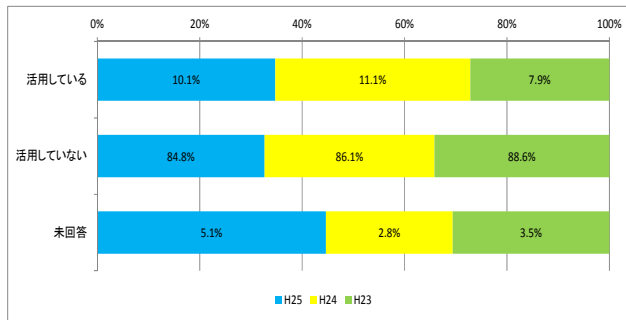
（ネット環境の管理）



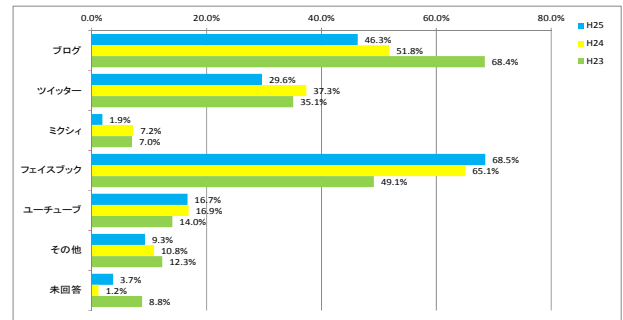
（管理における課題）

5 IT化の新たな動き（SNS：ソーシャル・ネットワーキング・サービス）について

SNSの活用については、「活用している（10.1%）」であり、そのうち活用媒体は「フェイスブック（68.5%）」、「ブログ（46.3%）」、「ツイッター（29.6%）」となった。



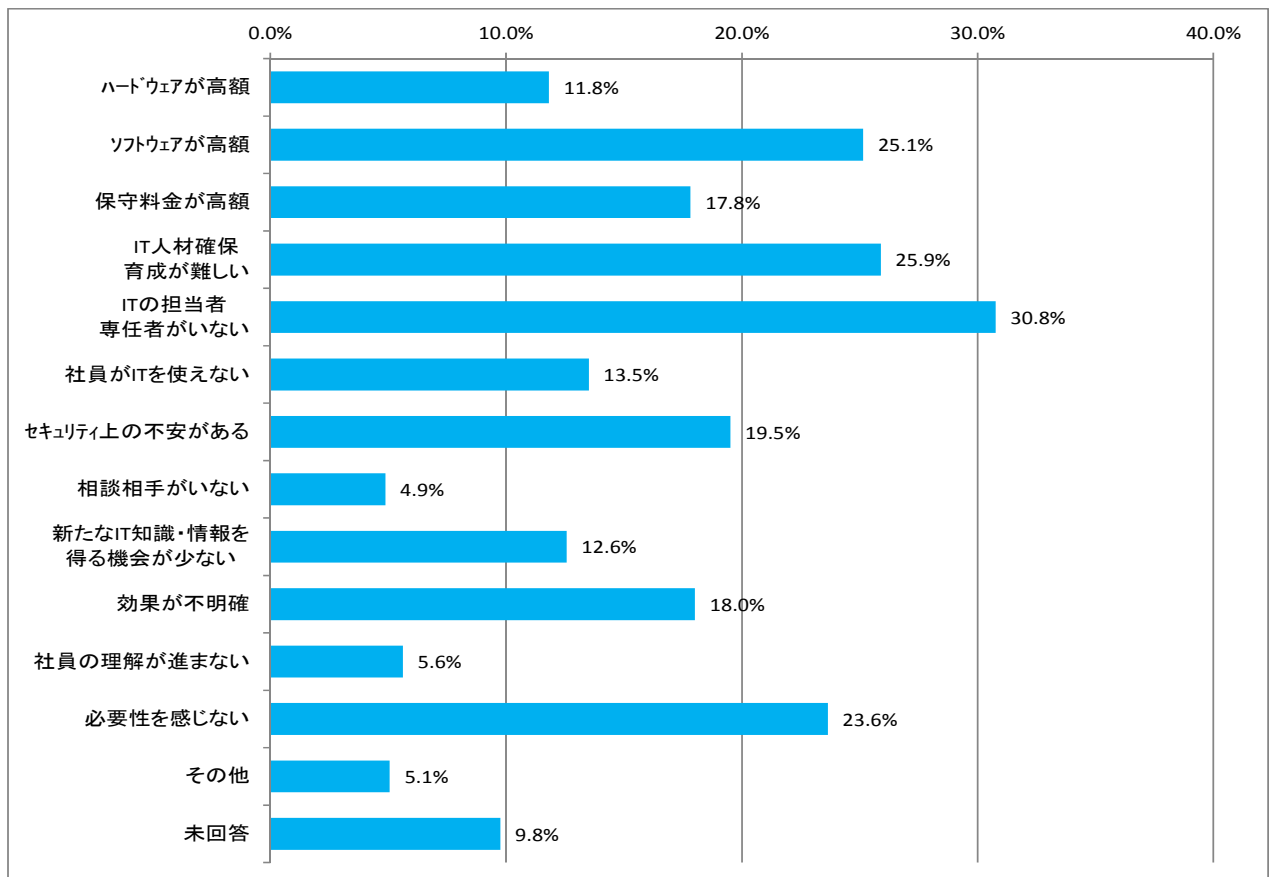
（SNSの活用状況）



（SNSの活用媒体）

6 ITの運用・利活用上の課題

ITの運用・利活用上の課題については、「ITの担当者・専任者がいない（30.8%）」、「IT人材確保・育成が難しい（25.9%）」、「ソフトウェアが高額（25.1%）」となった。



（ITの運用・利活用上の課題）